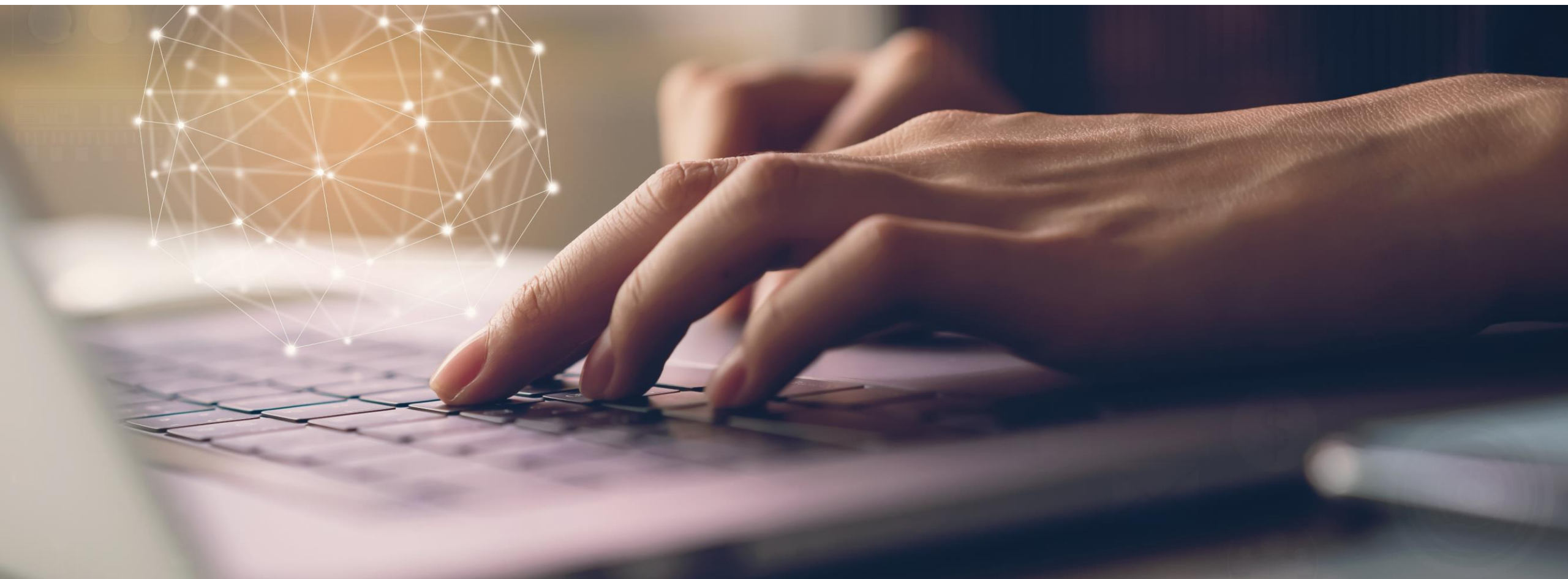




2021年9月10日

「ICTを活用した、これからの多職種連携」アンケート結果

アンケート実施概要

実施目的

第2回運営委員会主催セミナー「ICTを活用した、これからの多職種連携」の開催に際し、施設・在宅介護従事者（経営者含む）と要介護高齢者ご家族に対して、介護分野におけるICTの利活用に関してアンケート調査を実施した。

実施期間

2021年8月20日（金）から2021年9月6日（月）

実施方法

- 施設・在宅介護従事者（経営者含む）
 - ・日本介護経営学会会員へEメールにてアンケート調査依頼を行いGoogleフォームにて回答を得た
- 要介護高齢者ご家族
 - ・日本介護経営学会会員へEメールにてアンケート調査依頼を行いGoogleフォームにて回答を得た
 - ・株式会社アスマークによるWEBアンケートを実施

回答数

要介護高齢者ご家族	487件
在宅介護従事者（経営者含む）	154件
施設介護従事者（経営者含む）	236件
合計	877件

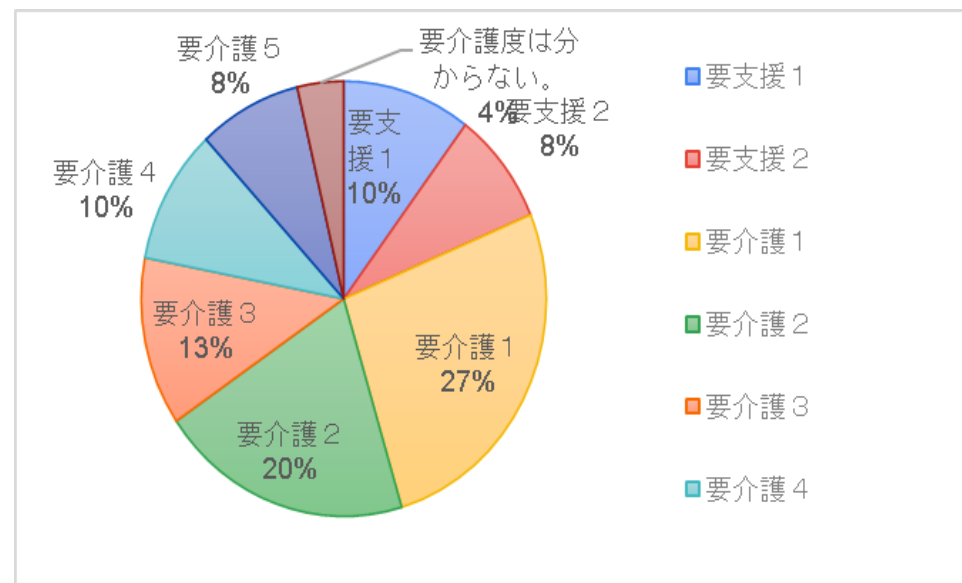


セッション1 要介護高齢者家族向けアンケート結果

要介護認定を受けている65歳以上のご家族の要介護度

存在比は在宅一般※と同等。要介護度の平均は、要支援1・2を含めて計算したところ、1.82であった。

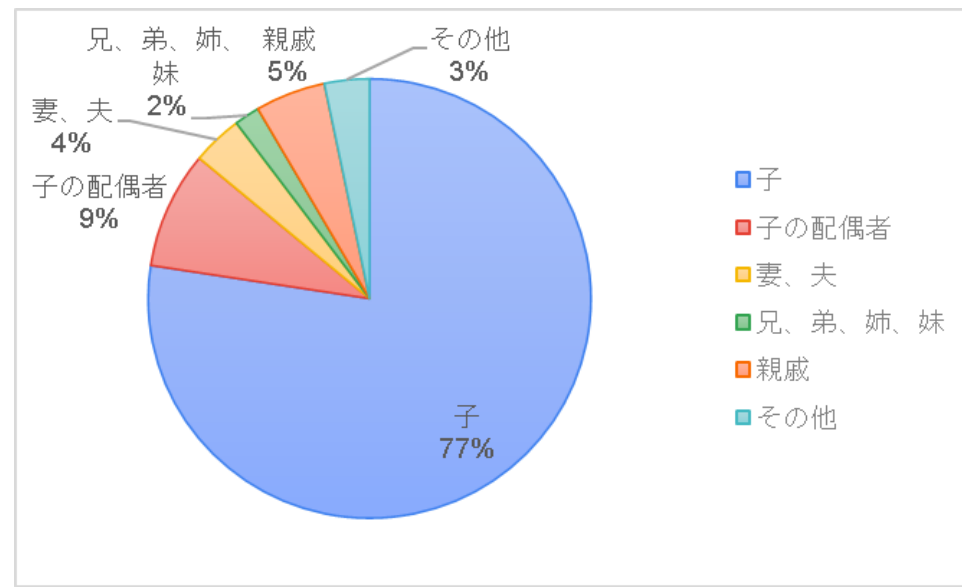
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
要支援1	50	26.7%	26.7%	26.7%
要支援2	41	20.1%	20.1%	46.8%
要介護1	130	12.5%	12.5%	59.3%
要介護2	98	10.1%	10.1%	69.4%
要介護3	61	8.2%	8.2%	77.6%
要介護4	49	3.7%	3.7%	81.3%
要介護5	40	10.3%	10.3%	91.6%
要介護度は分からない。	18	8.4%	8.4%	100.0%
合計	487	100.0%	100.0%	



要介護者からみた回答者との続柄

回答者は、要介護者等の「子」の割合が大きい（77%）

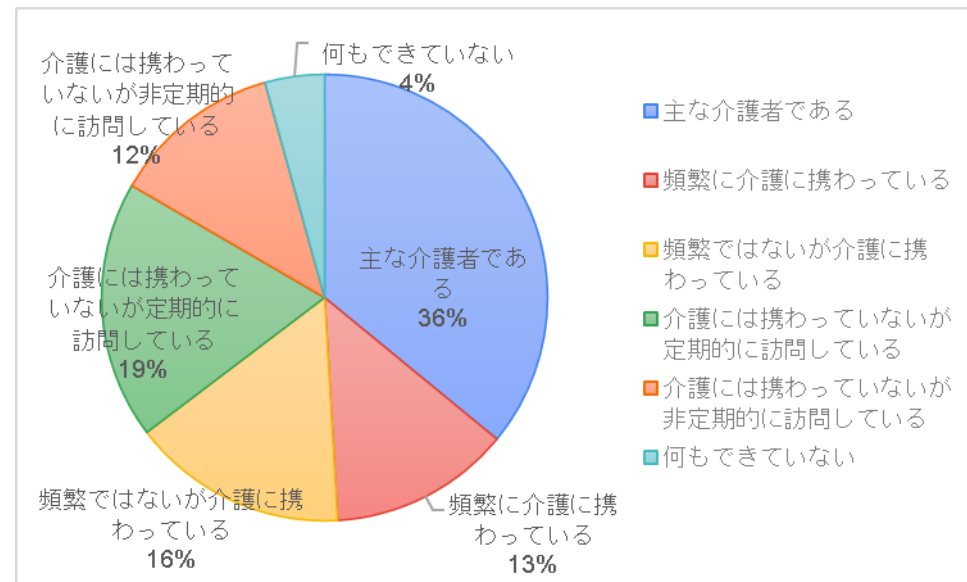
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
子	377	26.7%	26.7%	26.7%
子の配偶者	42	20.1%	20.1%	46.8%
妻、夫	18	12.5%	12.5%	59.3%
兄、弟、姉、妹	9	10.1%	10.1%	69.4%
親戚	25	8.2%	8.2%	77.6%
その他	16	3.7%	3.7%	81.3%
合計	487	100.0%	100.0%	



要介護者とご家族の関わりについて

回答者は、「主な介護者であり」の割合が大きい（36%）

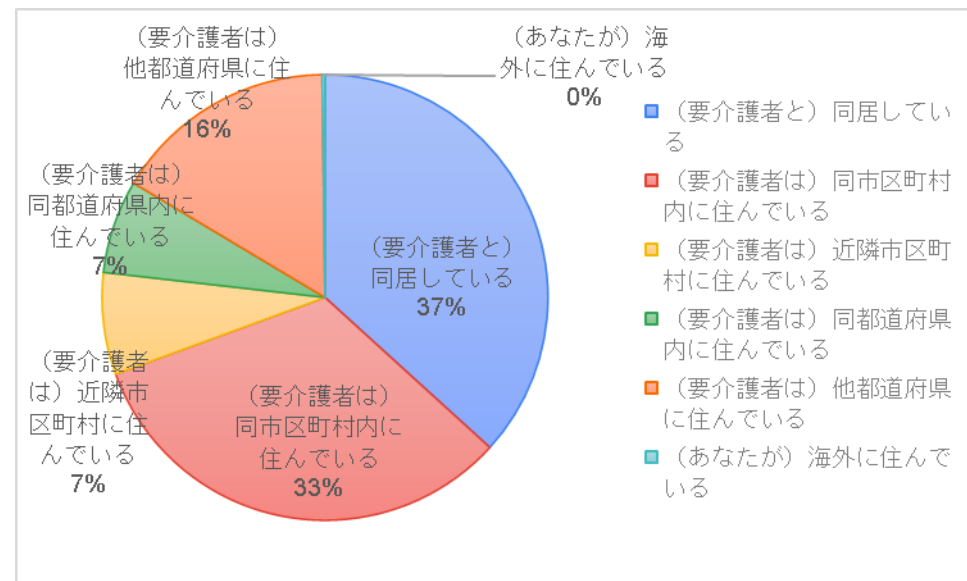
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
主な介護者である	175	35.9%	35.9%	35.9%
頻繁に介護に携わっている	64	13.1%	13.1%	49.1%
頻繁ではないが介護に携わっている	76	15.6%	15.6%	64.7%
介護には携わっていないが定期的に訪問している	91	18.7%	18.7%	83.4%
介護には携わっていないが非定期的に訪問している	60	12.3%	12.3%	95.7%
何もできていない	21	4.3%	4.3%	100.0%
合計	487	100.0%	100.0%	



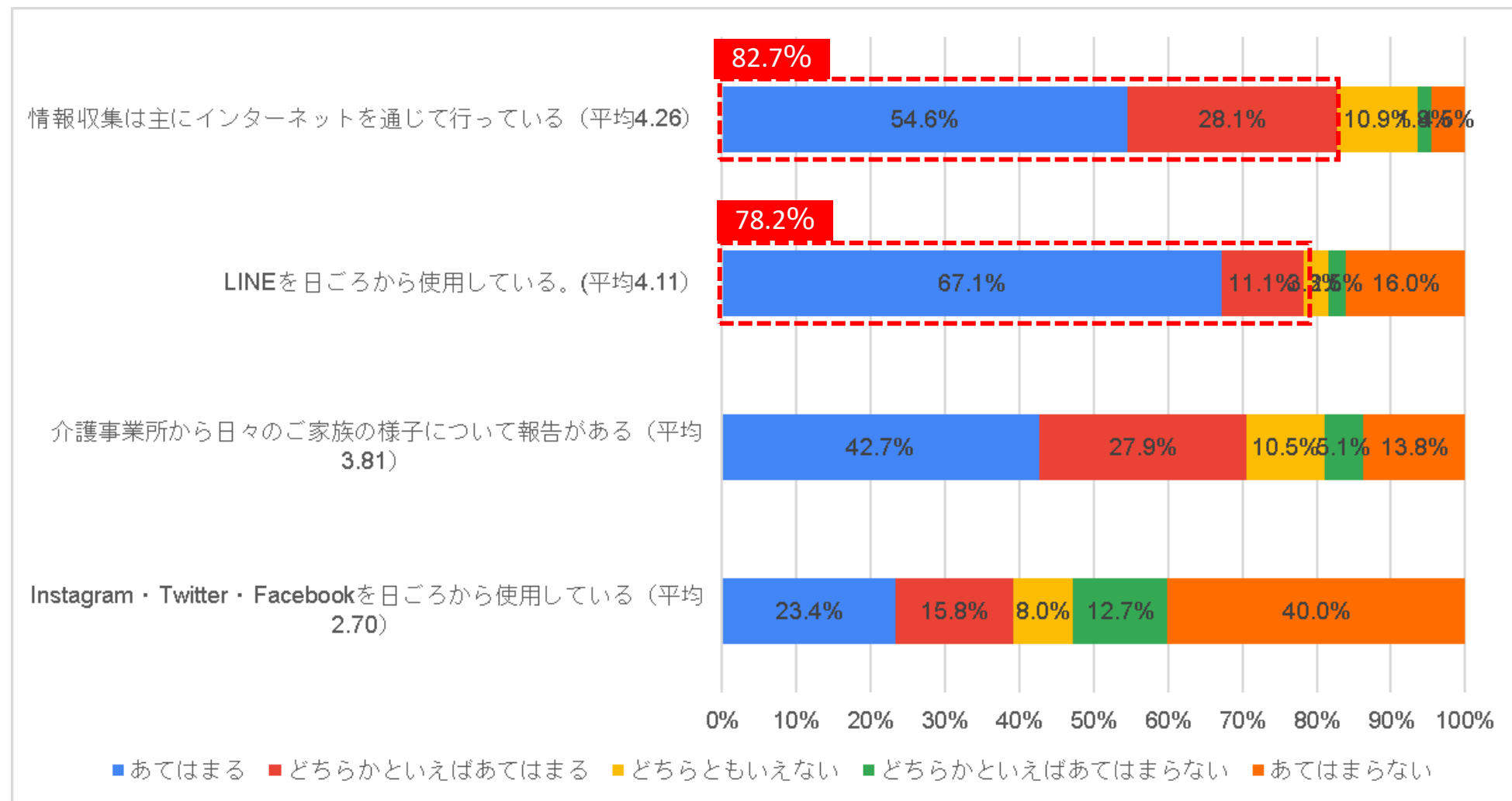
要介護者とご家族の状況

回答者は、要介護者と「同居している」の割合がもっと大きく（36.8%）次いで、同市区町村が32.6%と続いた。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
（要介護者と）同居している	179	36.8%	36.8%	36.8%
（要介護者は）同市区町村内に住んでいる	159	32.6%	32.6%	69.4%
（要介護者は）近隣市区町村に住んでいる	36	7.4%	7.4%	76.8%
（要介護者は）同都道府県内に住んでいる	33	6.8%	6.8%	83.6%
（要介護者は）他都道府県に住んでいる	79	16.2%	16.2%	99.8%
（あなたが）海外に住んでいる	1	0.2%	0.2%	100.0%
合計	487	100.0%	100.0%	

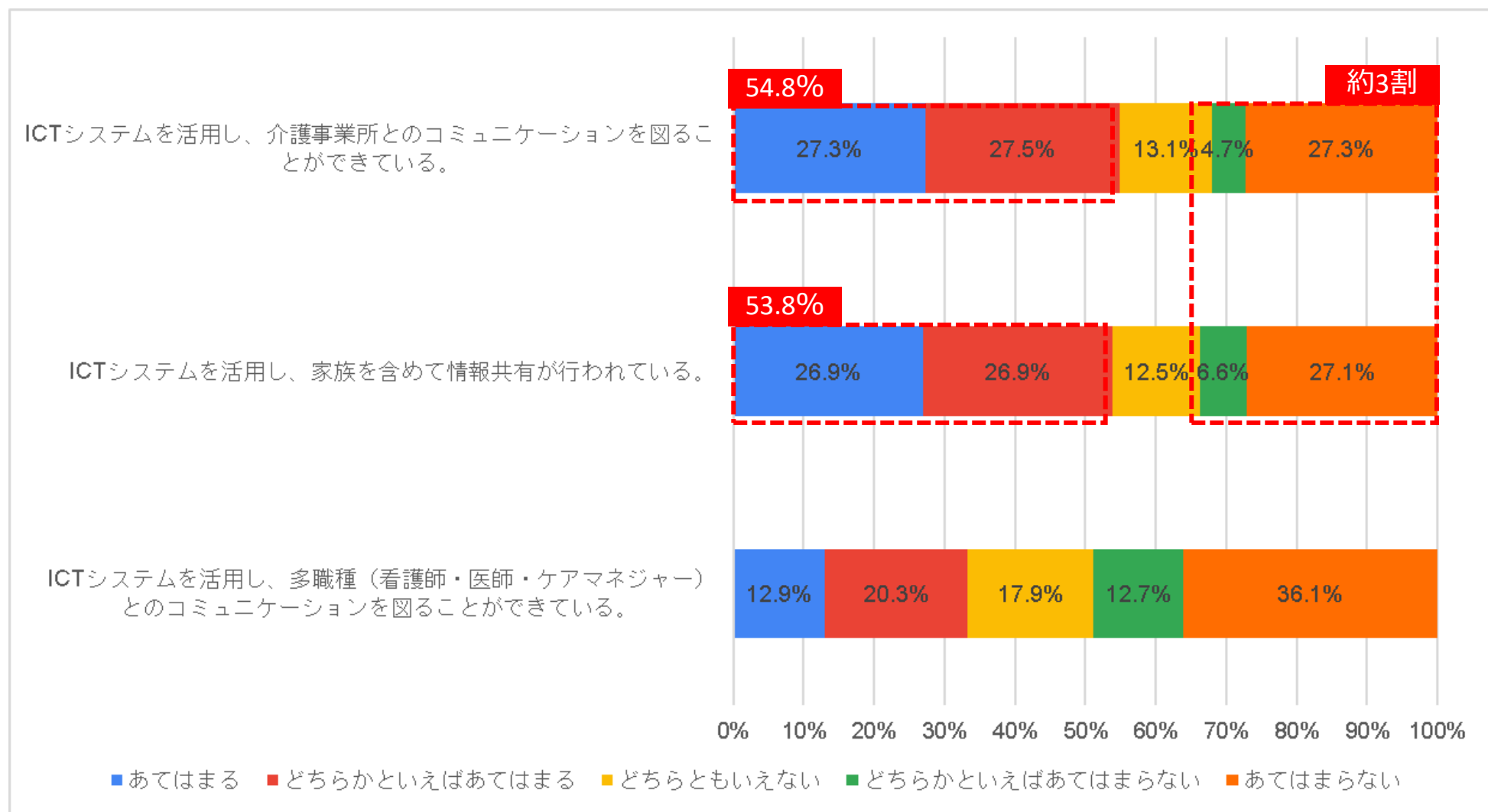


要介護高齢者家族は、インターネットで情報収集（82%）を行い、LINEを日ごろから使用（78.2%）をしている。



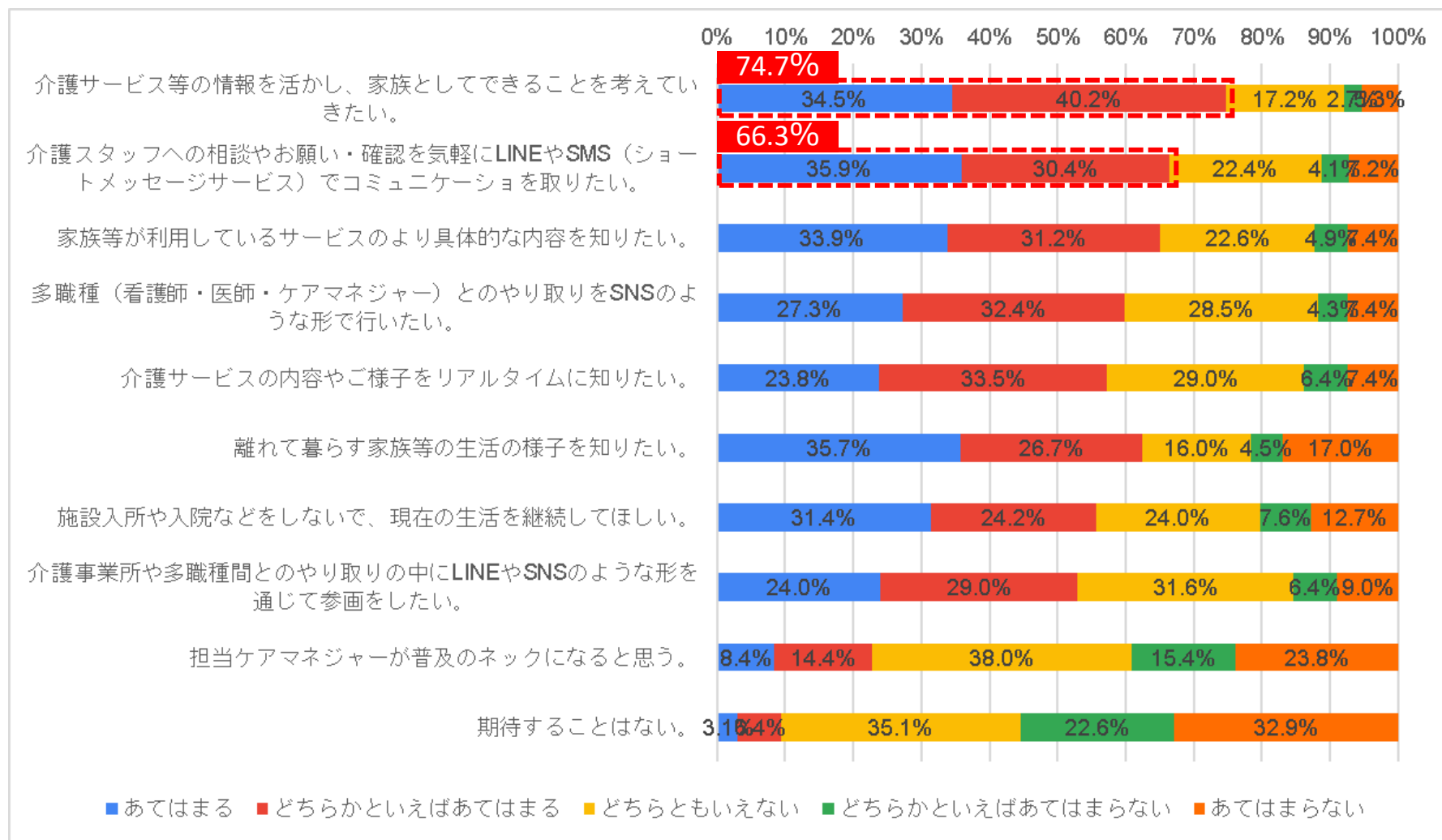
（5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った）

約半数がICTシステムを活用し、家族を含め、情報共有やコミュニケーションが図られている。半面、「あてはまらない」との回答も3割程度あったことから二極化の状況が示された。



(5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った)

「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」（74%）「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」（66%）回答が多い



（5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った）

「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」は強い正の相関がある。回答者は対局の意見をもつ2の集団に分かれている。

多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい と 介護事業所や多職種間とのやり取りの中にLINEやSNSのような形を通じて参画をしたい のクロス表（度数）

Pearson相関係数	.820**	介護事業所や多職種間とのやり取りの中にLINEやSNSのような形を通じて参画をしたい					
有意確率(両側)	0.000	1あてはまらない	とあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい	1あてはまらない	34	1	1	0	0	36
	い	5	13	2	0	1	21
	3どちらともいえない	1	11	109	16	2	139
	4どちらかという とあてはまる	0	5	33	109	11	158
	5あてはまる	4	1	9	16	103	133
	合計	44	31	154	141	117	487

多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい と 介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい のクロス表（度数）

Pearson相関係数	.807**	介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい					
有意確率(両側)	0.000	1あてはまらない	とあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい	1あてはまらない	31	2	2	0	1	36
	い	2	14	0	2	3	21
	3どちらともいえない	0	3	87	36	13	139
	4どちらかという とあてはまる	0	1	19	99	39	158
	5あてはまる	2	0	1	11	119	133
	合計	35	20	109	148	175	487

回答者に「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」希望を持っている集団があり、母集団を占める割合は大きい。

ICTシステム活用に関するアンケート_質問項目		家族等が利用しているサービスのより具体的な内容を知りたい	離れて暮らす家族等の生活の様子を知りたい	介護サービスの内容や様子をリアルタイムに知りたい	介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい	介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい	多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい
家族等が利用しているサービスのより具体的な内容を知りたい	Pearson の相関係数	1	.546**	.575**	.573**	.558**	.527**
	有意確率 (両側)		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	度数	487	487	487	487	487	487
離れて暮らす家族等の生活の様子を知りたい	Pearson の相関係数	.546**	1	.463**	.415**	.376**	.351**
	有意確率 (両側)	0.000		0.000	0.000	0.000	0.000
	度数	487	487	487	487	487	487
介護サービスの内容や様子をリアルタイムに知りたい	Pearson の相関係数	.575**	.463**	1	.694**	.576**	.577**
	有意確率 (両側)	0.000	0.000		0.000	0.000	0.000
	度数	487	487	487	487	487	487
介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい	Pearson の相関係数	.573**	.415**	.694**	1	.626**	.623**
	有意確率 (両側)	0.000	0.000	0.000		0.000	0.000
	度数	487	487	487	487	487	487
介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい	Pearson の相関係数	.558**	.376**	.576**	.626**	1	.807**
	有意確率 (両側)	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000
	度数	487	487	487	487	487	487
多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい	Pearson の相関係数	.527**	.351**	.577**	.623**	.807**	1
	有意確率 (両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
	度数	487	487	487	487	487	487

「家族等が利用しているサービスのより具体的な内容を知りたい」「離れて暮らす家族等の生活の様子を知りたい」「介護サービスの内容や様子をリアルタイムに知りたい」「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」それぞれ強い正の相関がみられた。

■ 回答者の「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（120人）があり、母集団の24%を占めている。

多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたいとICTシステムを活用し、多職種とのコミュニケーションできているのクロス表

Pearson の相関係数	.335**	多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかという とあてはまらない	3どちらともいえ ない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
ICTシステムを活用 し、多職種とのコ ミュニケーションで きている	1あてはまらない	 30	 17	 56	 46	 27	176
	2どちらかという とあてはまらない	 1	 0	 20	 18	 23	62
	3どちらともいえ ない	 1	 1	 28	 35	 22	87
	4どちらかという とあてはまる	 1	 2	 28	 43	 25	99
	5あてはまる	 3	 1	 7	 16	 36	63
	合計	36	21	139	158	133	487

- 「ICTシステムを活用し、多職種とのコミュニケーションできている」と「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」のクロス表では、両方当てはまらないの集団がいる一方、ICT活用によりコミュニケーションできていない集団と、コミュニケーションできている集団がある。
- 回答者には「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（120人）があり、24%存在する。
- 回答者は対局の意見をもつ2の集団に分かれている。

回答者の「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（212人）があり、母集団の43%を占めている。

ICTシステムを活用し介護事業所とのコミュニケーションできている と 介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい のクロス表

Pearson の相関係数	.399**	介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかという とあてはまらない	3どちらともいえ ない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
ICTシステムを活用 し介護事業所とのコ ミュニケーションで きている	1あてはまらない	27	13	34	41	18	133
	2どちらかという とあてはまらない	1	0	7	6	9	23
	3どちらともいえない	2	3	22	14	23	64
	4どちらかという とあてはまる	0	2	26	55	51	134
	5あてはまる	5	2	20	32	74	133
	合計	35	20	109	148	175	487

- 「ICTシステムを活用し介護事業所とのコミュニケーションできている」と「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」のクロス表のクロス表では、両方当てはまらないの集団がいる一方、ICTによるコミュニケーションしたいと思っているが、情報共有できていない集団と、情報共有できている集団がある。
- 回答者には「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（212人）があり、全体の43%存在する。
- 回答者は対局の意見をもつ2の集団に分かれている。

回答者の「介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（224人）があり、母集団の45%を占めている。

ICTシステムを活用し家族を含めて情報共有 と 介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたいのクロス表

Pearson の相関係数	.444**	介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかという とあてはまらない	3どちらともいえ ない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
ICTシステムを活用 し家族を含めて情報 共有	1あてはまらない	22	9	37	44	20	132
	2どちらかという とあてはまらない	1	1	7	16	7	32
	3どちらともいえ ない	0	2	16	29	14	61
	4どちらかという とあてはまる	1	1	12	61	56	131
	5あてはまる	2	0	12	46	71	131
	合計	26	13	84	196	168	487

- 「ICTシステムを活用し家族を含めて情報共有」と「介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい」のクロス表では、両方当てはまらないの集団がいる一方、家族とICTの情報を生かしていきたいと思っているが、情報共有できていない集団と、情報共有できている集団がある。
- 回答者には「介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（224人）があり、45%存在する。
- 回答者は対局の意見をもつ2の集団に分かれている。

回答者には、ICTを活用し「介護事業所から日々のご家族の様子について報告がある」「家族を含めて情報共有」「介護事業所とのコミュニケーションできている」「多職種とのコミュニケーションできている」要介護者の家族の集団が存在する。

ICTシステム活用に関するアンケート_質問項目		介護事業所から 日々のご家族の様 子について報告が ある	ICTシステムを活用 し家族を含めて情 報共有	ICTシステムを活用 し介護事業所との コミュニケーションで きている	ICTシステムを活用 し、多職種とのコ ミュニケーションでき ている
介護事業所から日々のご家族の様子について報告がある	Pearson の相関係数	1	.607**	.608**	.467**
	有意確率 (両側)		0.000	0.000	0.000
	度数	487	487	487	487
ICTシステムを活用し家族を含めて情報共有	Pearson の相関係数	.607**	1	.853**	.682**
	有意確率 (両側)	0.000		0.000	0.000
	度数	487	487	487	487
ICTシステムを活用し介護事業所とのコミュニケーションできている	Pearson の相関係数	.608**	.853**	1	.737**
	有意確率 (両側)	0.000	0.000		0.000
	度数	487	487	487	487
ICTシステムを活用し、多職種とのコミュニケーションできている	Pearson の相関係数	.467**	.682**	.737**	1
	有意確率 (両側)	0.000	0.000	0.000	
	度数	487	487	487	487

- 「介護事業所から日々のご家族の様子について報告がある」「ICTシステムを活用し家族を含めて情報共有」「ICTシステムを活用し介護事業所とのコミュニケーションできている」「ICTシステムを活用し、多職種とのコミュニケーションできている」それぞれの要素は互いに強い正の相関関係があった。
- 現在ICTを活用して利用者情報を交換している要介護者の家族が存在している。

■ 相関は存在しているが、クロス表では、担当ケアマネジャーがネックになるあてはまる41人に対し、あてはまらない116人となっており、相関はあっても、ネックになると考える集団は少ない。

介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい と 担当ケアマネジャーが普及のネックになると思う のクロス表

Pearson の相関係数	.243**	担当ケアマネジャーが普及のネックになると思う					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかという とあてはまらない	3どちらともい えない	4どちらかという とあてはまる	5あてはまる	合計
介護スタッフへの相談やお願い・確認を 気軽にLINEやSMS でコミュニケーション を取りたい	1あてはまらない	26	2	6	1	0	35
	2どちらかという とあてはまらない	4	6	7	2	1	20
	3どちらともい えない	19	15	62	9	4	109
	4どちらかという とあてはまる	28	26	55	31	8	148
	5あてはまる	39	26	55	27	28	175
	合計	116	75	185	70	41	487

- 「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」「担当ケアマネジャーが普及のネックになると思う」と（Pearson相関係数.243**）正の相関があった。
- 一方、クロス表では、担当ケアマネジャーがネックになるあてはまる41人に対し、あてはまらない116人となっており、相関はあっても、ネックになると考える集団は少ない。

要介護者等の介護をおこなう回答者には、介護事業所のICTシステム普及に大きな期待をしている集団と、期待していない集団が存在する。ICTに積極的な集団と消極的な集団と2極分化集団が存在することが明確になった。

		介護事業所のICTシステム普及に期待することはない	多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい	介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい	介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい
介護事業所のICTシステム普及に期待することはない	Pearson の相関係数	1	-.276**	-.289**	-.310**
	有意確率 (両側)		0.000	0.000	0.000
	度数	487	487	487	487
多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい	Pearson の相関係数	-.276**	1	.807**	.623**
	有意確率 (両側)	0.000		0.000	0.000
	度数	487	487	487	487
介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい	Pearson の相関係数	-.289**	.807**	1	.626**
	有意確率 (両側)	0.000	0.000		0.000
	度数	487	487	487	487
介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい	Pearson の相関係数	-.310**	.623**	.626**	1
	有意確率 (両側)	0.000	0.000	0.000	
	度数	487	487	487	487

- 「介護事業所のICTシステム普及に期待することはない」と「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」「介護サービス等の情報を活かし家族としてできることを考えていきたい」それぞれは負の相関が存在した。
- 一連の検証で明確になったICTに積極的な集団と消極的な集団と2極分化集団が存在し、その影響が負の相関の原因となっているのではないか。

要介護者等の家族の多くは、ICTによる介護事業所とのコミュニケーションを求めていることが分かった

- 家族は、要介護1では要介護者等の「在宅生活継続」希望が（59%）であるが、要介護5では不希望（42%）と逆転する。
- 回答者は、「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」（74%）「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」（66%）が多い
- 回答者の「多職種とのやり取りをSNSのような形で行いたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（120人）があり、母集団の24%を占めている。
- 回答者の「介護スタッフへの相談やお願い・確認を気軽にLINEやSMSでコミュニケーションを取りたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（212人）があり、母集団の43%を占めている。
- 回答者の「介護サービス等の情報を生かし家族としてできることを考えていきたい」という希望が、ICTを活用することで、実現できている集団（224人）があり、母集団の45%を占めている。
- 回答者には、ICTを活用し「介護事業所から日々のご家族の様子について報告がある」「家族を含めて情報共有」「介護事業所とのコミュニケーションできている」「多職種とのコミュニケーションできている」要介護者の家族の集団が存在する。
- 要介護者等の介護をおこなう回答者には、介護事業所のICTシステム普及に大きな期待をしている集団と、期待していない集団が存在する。



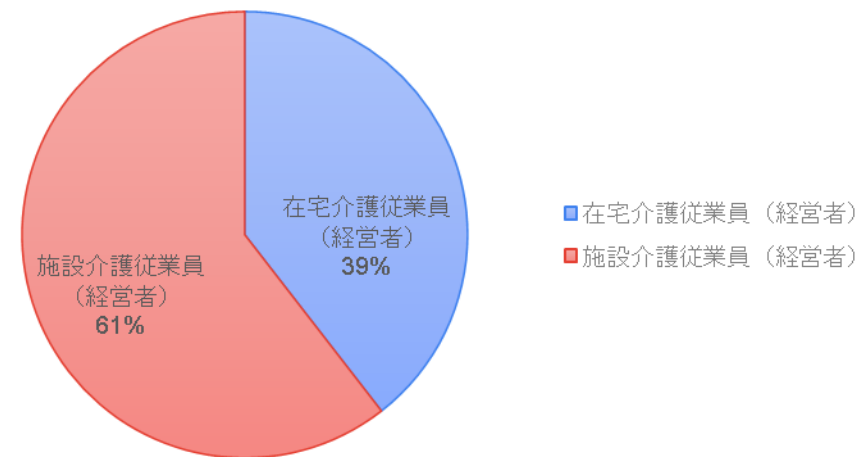
セッション2

介護従事者（経営者含む）向け アンケート結果

回答者の従事サービス種類

回答者（390件）の内、在宅介護従事者（経営者含む）が154件（39.5%）、施設介護従事者（経営者含む）が236件（60.5%）であった。

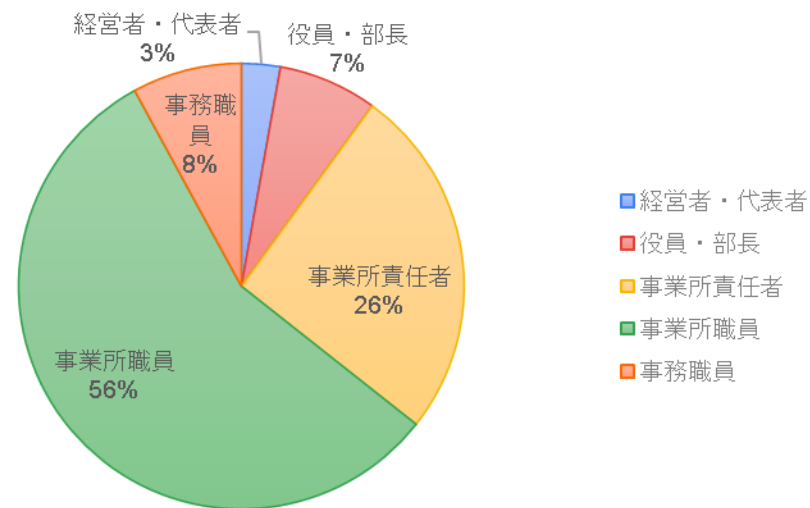
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
在宅介護従事者（経営者）	154	39.5%	39.5%	39.5%
施設介護従事者（経営者）	236	60.5%	60.5%	100.0%
合計	390	100.0%	100.0%	



回答者の役職

回答者の内、220件（56.4%）が事業所職員であった。次いで、事業所責任者が100件（25.6%）を占めた。

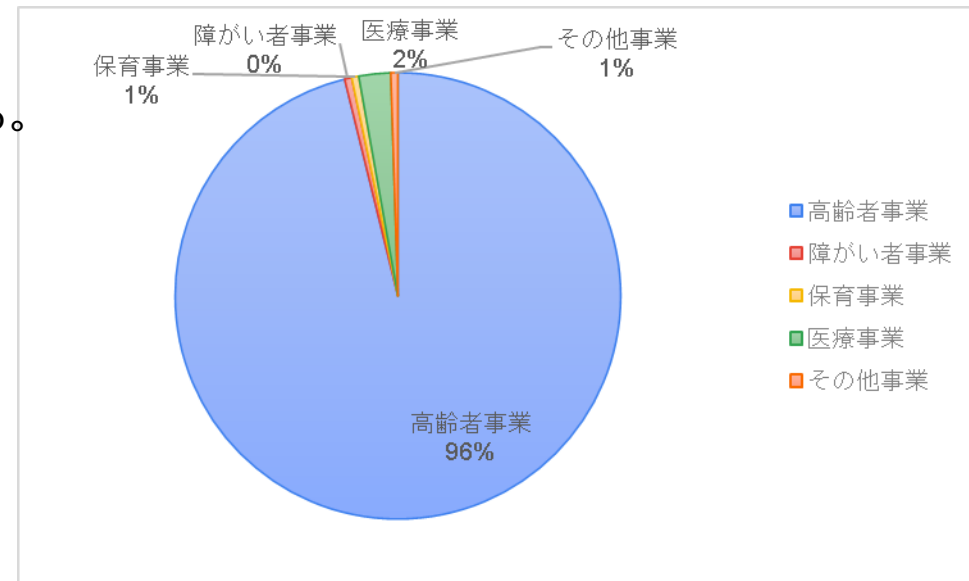
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経営者・代表者	11	2.8%	2.8%	2.8%
役員・部長	28	7.2%	7.2%	10.0%
事業所責任者	100	25.6%	25.6%	35.6%
事業所職員	220	56.4%	56.4%	92.1%
事務職員	31	7.9%	7.9%	100.0%
合計	390	100.0%	100.0%	



回答者の主に提供している（担当している）事業

回答者の内、375件（96.2%）が高齢者事業を主に提供（担当）している。

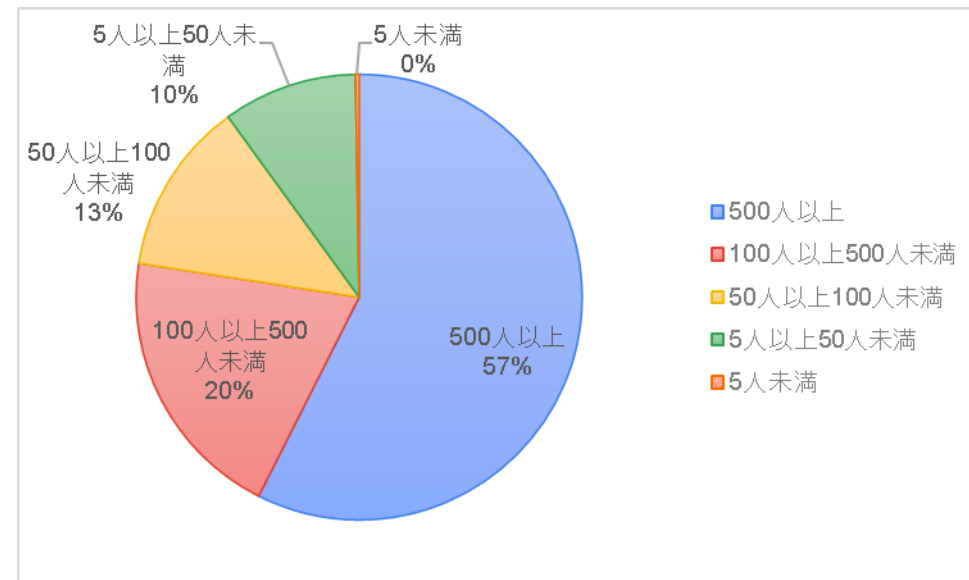
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
高齢者事業	375	96.2%	96.2%	96.2%
障がい者事業	2	0.5%	0.5%	96.7%
保育事業	2	0.5%	0.5%	97.2%
医療事業	9	2.3%	2.3%	99.5%
その他事業	2	0.5%	0.5%	100.0%
合計	390	100.0%	100.0%	



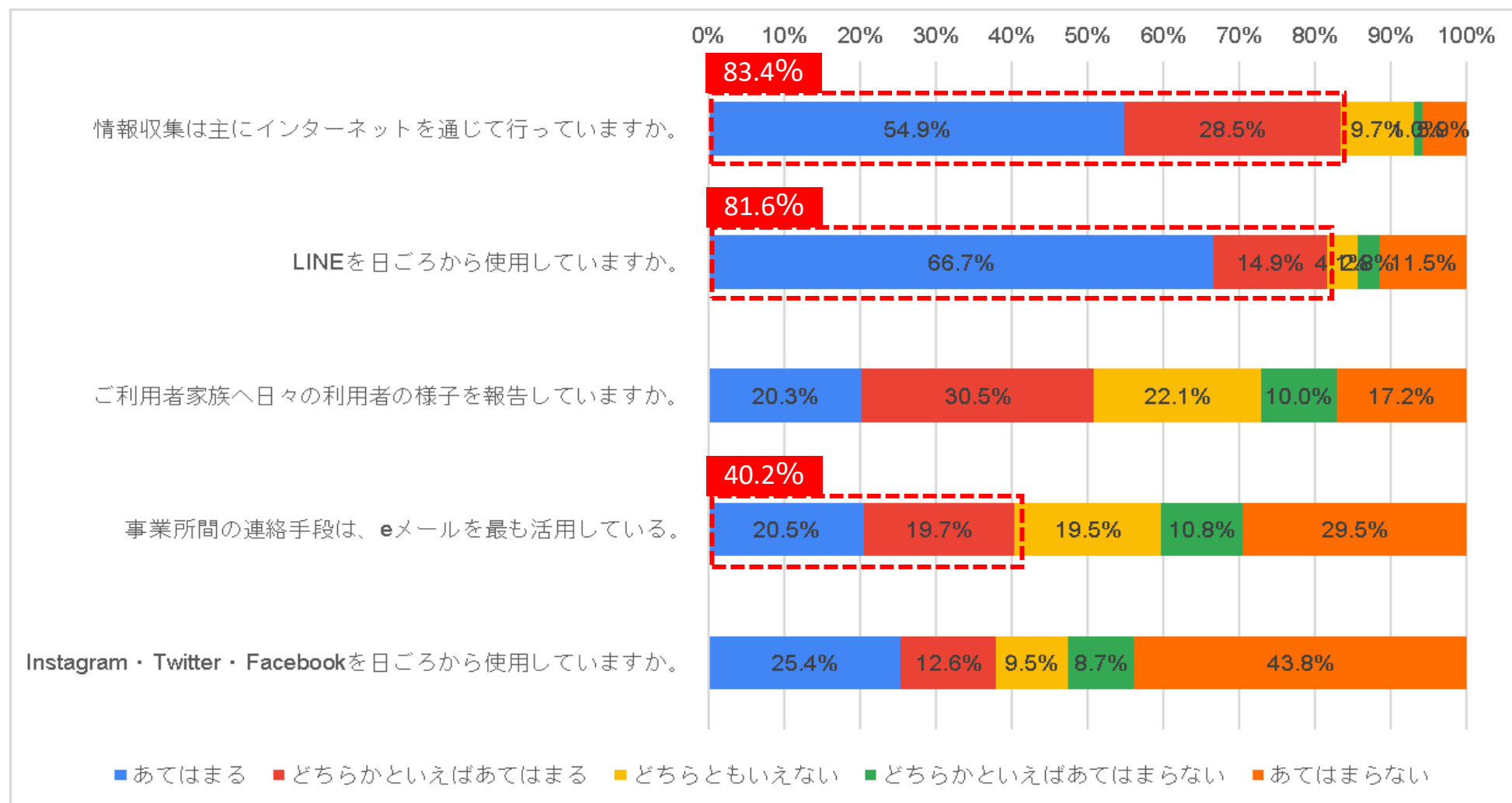
回答者の法人全体の職員人数

回答者のうち、224件（57.4%）が法人全体の職員人数が500名以上の法人であった。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
500人以上	224	57.4%	57.4%	57.4%
100人以上500人未満	78	20.0%	20.0%	77.4%
50人以上100人未満	49	12.6%	12.6%	90.0%
5人以上50人未満	38	9.7%	9.7%	99.7%
5人未満	1	0.3%	0.3%	100.0%
合計	390	100.0%	100.0%	

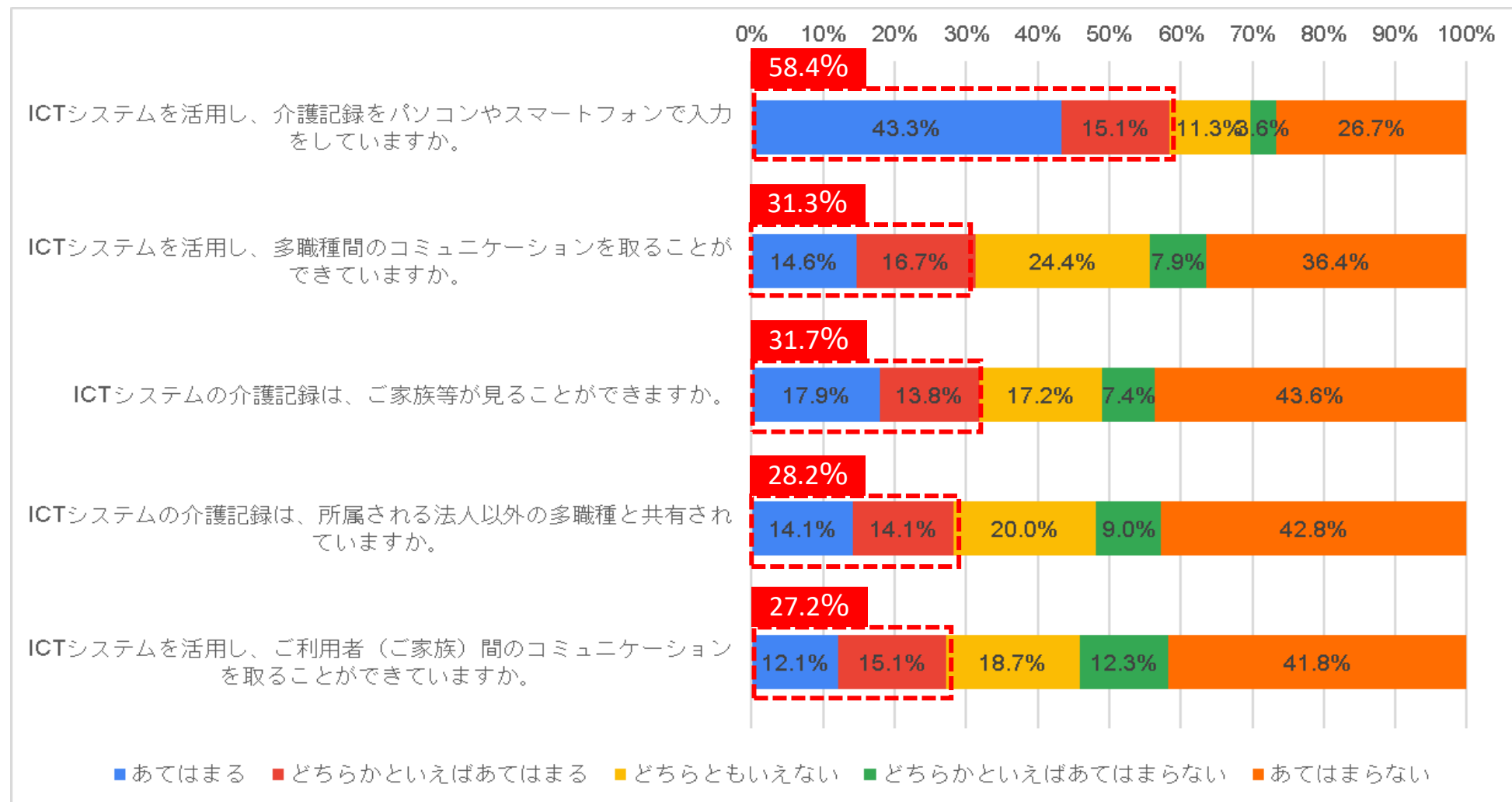


介護従事者も、インターネットで情報収集（83%）を行い、LINEを日ごろから使用（81.6%）をしている。事業所間の主な連絡手段でeメールを使用する人は、40%に留まった。



(5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った)

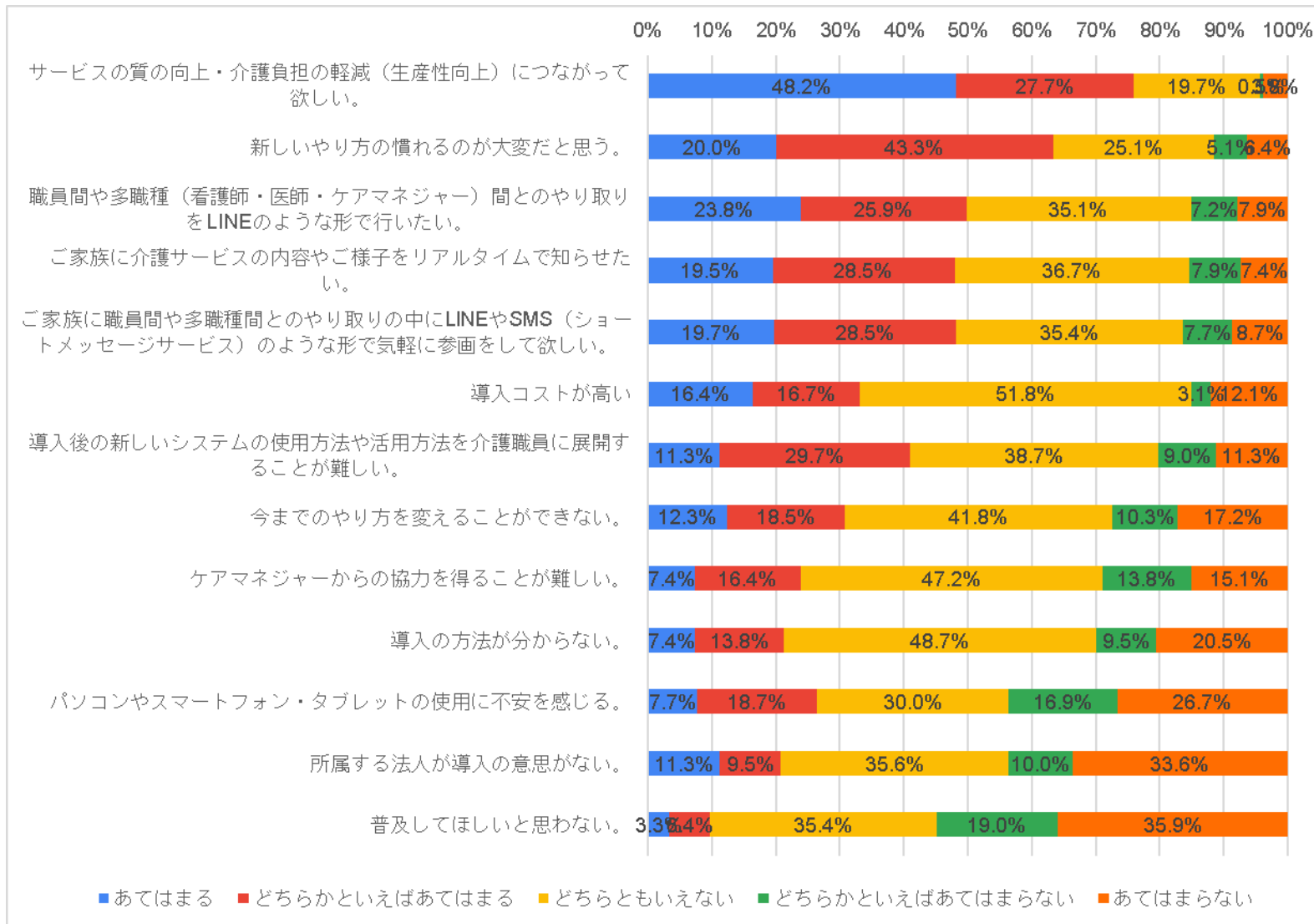
ICTシステムを活用し、介護記録をパソコンやスマートフォンで入力している割合は58%を占めた。ICTシステムを活用し、法人外が多職種や家族との介護記録の閲覧やコミュニケーションをとることに関しては、30%程度に留まる結果であった。



(5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った)

今後、介護事業所のICTシステムが普及することに関して

ICTが普及することで、「新しいやり方に慣れるのが大変だ」と意見が63%が多い。一方、サービスの質の向上・生産性の向上に対する期待を寄せている意見も、75%と大きいことが分かった。



(5あてはまる、4ややあてはまる、3どちらともいえない、2ややあてはまらない、1あてはまらないに関する平均値を取り、平均値順に降順で並べ替えを行った)

介護記録でICTシステムを活用している在宅介護従事者が、施設介護従事者よりも多い。

施設・在宅 と 介護記録はICTシステムを活用 のクロス表

		介護記録はICTシステムを活用					合計	平均値
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる		
施設・在宅	1施設介護従事者	86	10	28	23	89	236	3.08
	2在宅介護従事者	18	4	16	36	80	154	4.01
	合計	104	14	44	59	169	390	3.45

施設・在宅 と ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有 のクロス表

		ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有					合計	平均値
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる		
施設・在宅	1施設介護従事者	119	16	48	28	25	236	2.25
	2在宅介護従事者	48	19	30	27	30	154	2.82
	合計	167	35	78	55	55	390	2.48

施設・在宅 と ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション のクロス表

		ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション					合計	平均値
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる		
施設・在宅	1施設介護従事者	129	24	41	17	25	236	2.09
	2在宅介護従事者	34	24	32	42	22	154	2.96
	合計	163	48	73	59	47	390	2.43

- 介護記録でICTシステムを活用している在宅介護従事者が、施設介護従事者よりも多い。
- ICTシステムの介護記録は、法人以外の多職種と共有している在宅介護従事者は、施設よりも若干多い。
- ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーションしている在宅介護従事者は、施設よりも多い。

施設・在宅と両方で「職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい」「家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい」「家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい」と思っている。

施設・在宅 と 職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい のクロス表

		職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい					
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計
施設・在宅	1施設介護従事者	25	15	103	51	42	236
	2在宅介護従事者	6	13	34	50	51	154
	合計	31	28	137	101	93	390
							平均値
							3.3
							3.82
							3.51

施設・在宅 と 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい のクロス表

		家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい					
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計
施設・在宅	1施設介護従事者	29	16	98	58	35	236
	2在宅介護従事者	5	14	40	53	42	154
	合計	34	30	138	111	77	390
							平均値
							3.23
							3.73
							3.43

施設・在宅 と 家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい のクロス表

		家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい					
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計
施設・在宅	1施設介護従事者	24	22	104	55	31	236
	2在宅介護従事者	5	9	39	56	45	154
	合計	29	31	143	111	76	390
							平均値
							3.2
							3.82
							3.45

- 施設・在宅介護従事者ともに、職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたいという回答が多い。
- 施設・在宅ともに、家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEのような形で気軽に参画して欲しいと思っている。
- 施設・在宅ともに、家族に介護サービスの内容や様子を知らせたいと思っている。

施設・在宅と両方で新しいやり方になれるのは大変ではあるが、ICTは普及して欲しいと考えていることがわかった。また、介護記録はICT化している会員の介護従事者は多い（75%）。

施設・在宅 と 新しいやり方の慣れるのが大変 のクロス表

		新しいやり方の慣れるのが大変						
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計	平均値
施設・在宅	1施設介護従業員	17	10	70	98	41	236	3.58
	2在宅介護従業員	8	10	28	71	37	154	3.77
	合計	25	20	98	169	78	390	3.65

施設・在宅 と 普及してほしいと思わない のクロス表

		普及してほしいと思わない						
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計	平均値
施設・在宅	1施設介護従業員	64	49	95	16	12	236	2.42
	2在宅介護従業員	76	25	43	9	1	154	1.92
	合計	140	74	138	25	13	390	2.22

会員 と 介護記録はICTシステムを活用 のクロス表

		介護記録はICTシステムを活用						
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計	平均値
会員	0非会員	81	9	26	19	65	200	2.89
	1会員	23	5	18	40	104	190	4.04
	合計	104	14	44	59	169	390	3.45

- 施設・在宅介護従事者ともに、新しいやり方になれるのが大変という回答が多い。
- 施設・在宅ともに、ICTが普及してほしいとは思わないとは思っていない回答が多い。
- 介護記録はICTシステムを活用している回答は、非会員の介護従事者より、会員の介護従事者のほうが多い。

■ すべての役職で、新しいやり方になれるのは大変ではあるが、ICTは普及して欲しいと考えていることがわかった。

役職 と 普及してほしいと思わないのクロス表

		普及してほしいと思わない						
		1あてはまらない	2どちらかといえはあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえはあてはまる	5あてはまる	合計	平均値
役職	1事務員	9	5	15	1	1	31	2.35
	2事業所職員	51	49	95	17	8	220	2.46
	3事業所管理者	49	17	25	6	3	100	1.97
	4役員・部長	23	2	1	1	1	28	1.39
	5経営者・代表者	8	1	2	0	0	11	1.45
	合計	140	74	138	25	13	390	2.22

役職 と 新しいやり方の慣れるのが大変 のクロス表

		新しいやり方の慣れるのが大変							
		1あてはまらない	2どちらかといえ ばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえ ばあてはまる	5あてはまる	合計	平均値	
役職	1事務員	4	0	8	12	7	31	3.58	
	2事業所職員	15	11	67	86	41	220	3.58	
	3事業所管理者	3	5	15	55	22	100	3.88	
	4役員・部長	2	3	3	14	6	28	3.68	
	5経営者・代表者	1	1	5	2	2	11	3.27	
	合計	25	20	98	169	78	390	3.65	

- すべての役職階層で、ICTが普及してほしいと思わない回答者は少ない。
- すべての役職階層で、新しいやり方になれるのが大変だという回答者が多い。

ご家族が見るICTシステムの介護記録を活用して家族に日々の様子を報告している集団（22%）が存在した。

日々の様子を報告していますか と ご家族等が見るICTシステムの介護記録 のクロス表

Pearson の相関係数	.271**	ご家族等が見るICTシステムの介護記録					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
日々の様子を報告していますか	1あてはまらない	50	1	8	3	5	67
	2どちらかといえばあてはまらない	17	9	6	3	4	39
	3どちらともいえない	32	7	26	11	10	86
	4どちらかといえばあてはまる	38	7	19	27	28	119
	5あてはまる	33	5	8	10	23	79
	合計	170	29	67	54	70	390

- ご家族が見るICTシステムの介護記録がないが、日々の様子をご家族に報告してもいない集団（19%）が存在した。
- 一方、ご家族が見るICTシステムの介護記録と日々の様子をご家族に報告している集団（22%）が存在した。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に正の相関が示された。

ICTシステムの介護記録を活用しご家族とコミュニケーションをしている集団（24%）が存在した。

介護記録はICTシステムを活用 と ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション のクロス表

Pearson の相関係数	.498**	ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
介護記録はICTシステムを活用	1あてはまらない	97	2	2	1	2	104
	2どちらかといえばあてはまらない	3	7	4	0	0	14
	3どちらともいえない	2	5	29	7	1	44
	4どちらかといえばあてはまる	11	12	14	20	2	59
	5あてはまる	50	22	24	31	42	169
	合計	163	48	73	59	47	390

- ICTシステムの介護記録もないが、ご家族とICTシステムを活用してコミュニケーションをしていない集団（27%）が存在した。
- 一方、ICTシステムの介護記録を活用し、ご家族とICTシステムを活用してコミュニケーションをしている集団（24%）が存在した。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい、現にICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有している集団（18%）が存在する。

職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい と ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有 のクロス表

Pearson の相関係数	.192**	ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえ ばあてはまらな い	3どちらともいえ ない	4どちらかといえ ばあてはまる	5あてはまる	合計
職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい	1あてはまらない	21	3	2	1	4	31
	2どちらかといえ ばあてはまらな い	16	2	3	6	1	28
	3どちらともいえ ない	64	9	40	12	12	137
	4どちらかといえ ばあてはまる	28	13	18	26	16	101
	5あてはまる	38	8	15	10	22	93
	合計	167	35	78	55	55	390

- 職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい にどちらともいえないと回答し、ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有にあてはまらなないと回答した集団（18%）が存在する。
- 一方、職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい、現にICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有している集団（18%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に弱い正の相関が示された。

■ 家族に介護サービスの内容や様子を知らせるためにICTシステムの介護記録を活用している集団（22%）が存在する。

家族に介護サービスの内容やご様子を知らせたい と ご家族等が見るICTシステムの介護記録 のクロス表

Pearson の相関係数	.299**	ご家族等が見るICTシステムの介護記録					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
家族に介護サービスの内容やご様子を知らせたい	1あてはまらない	24	0	0	3	2	29
	2どちらかといえばあてはまらない	17	5	3	2	4	31
	3どちらともいえない	63	17	36	12	15	143
	4どちらかといえばあてはまる	42	5	16	30	18	111
	5あてはまる	24	2	12	7	31	76
	合計	170	29	67	54	70	390

- 家族に介護サービスの内容やご様子を知らせたいにどちらともいえないと回答し、ご家族等が見るICTシステムの介護記録にあてはまらなないと回答した集団（20%）が存在する。
- 一方、家族に介護サービスの内容やご様子を知らせたいが、現にご家族等が見るICTシステムの介護記録を活用している集団（22%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に弱い正の相関が示された。

■ 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいが、現に多職種間のコミュニケーションICTシステムを活用している集団（20%）が存在する。

家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい と 多職種間のコミュニケーションICTシステムを活用 のクロス表

Pearson の相関係数	.281**	多職種間のコミュニケーションICTシステムを活用					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい	1あてはまらない	25	0	2	2	5	34
	2どちらかといえばあてはまらない	16	3	6	4	1	30
	3どちらともいえない	56	10	41	12	19	138
	4どちらかといえばあてはまる	27	12	33	28	11	111
	5あてはまる	18	6	13	19	21	77
	合計	142	31	95	65	57	390

- 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいにどちらともいえないと回答し、多職種間のコミュニケーションICTシステムを活用にあてはまらなないと回答した集団（16%）が存在する。
- 一方、家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいが、現に多職種間のコミュニケーションICTシステムを活用している集団（20%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に弱い正の相関が示された。

介護記録は、ICTシステムを活用しご家族とコミュニケーションしている集団（24%）が存在する。

介護記録はICTシステムを活用 と ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション のクロス表

Pearson の相関係数	.498**	ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーション					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
介護記録はICTシステムを活用	1あてはまらない	97	2	2	1	2	104
	2どちらかといえばあてはまらない	3	7	4	0	0	14
	3どちらともいえない	2	5	29	7	1	44
	4どちらかといえばあてはまる	11	12	14	20	2	59
	5あてはまる	50	22	24	31	42	169
	合計	163	48	73	59	47	390

- 介護記録はICTシステムを活用にあてはまらないと回答し、ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーションにあてはまらないと回答した集団（27%）が存在する。
- 一方、介護記録はICTシステムを活用し、ご家族とICTシステムを活用しコミュニケーションしている集団（24%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

介護記録はICTシステムを活用し、法人以外の多職種と共有している集団（25%）が存在する。

介護記録はICTシステムを活用 と ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有 のクロス表

Pearson の相関係数	.535**	ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
介護記録はICTシステムを活用	1あてはまらない	97	1	1	3	2	104
	2どちらかといえばあてはまらない	6	7	1	0	0	14
	3どちらともいえない	4	3	33	3	1	44
	4どちらかといえばあてはまる	15	8	16	18	2	59
	5あてはまる	45	16	27	31	50	169
	合計	167	35	78	55	55	390

- 介護記録はICTシステムを活用にあてはまらないと回答し、ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有にあてはまらないと回答した集団（28%）が存在する。
- 一方、介護記録はICTシステムを活用し、ICTシステムの介護記録は法人以外の多職種と共有している集団（25%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

介護記録はICTシステムを活用し、ご家族等が見ている集団（28%）が存在する。

介護記録はICTシステムを活用 と ご家族等が見るICTシステムの介護記録 のクロス表

Pearson の相関係数	.524**	ご家族等が見るICTシステムの介護記録					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
介護記録はICTシステムを活用	1あてはまらない	97	1	2	0	4	104
	2どちらかといえばあてはまらない	5	8	1	0	0	14
	3どちらともいえない	2	4	30	4	4	44
	4どちらかといえばあてはまる	17	7	13	17	5	59
	5あてはまる	49	9	21	33	57	169
	合計	170	29	67	54	70	390

- 介護記録はICTシステムを活用にあてはまらないと回答し、ご家族等が見るICTシステムの介護記録にあてはまらないと回答した集団（28%）が存在する。
- 一方、介護記録はICTシステムを活用し、ご家族等が見るICTシステムの介護記録を活用している集団（28%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

■ 法人に導入意思がある場合は、導入コストが安い。法人にICT導入の意思がないのは、導入コストが高いからであるということが示された。

法人が導入の意思がない と 導入コストが高い のクロス表

Pearson の相関係数	.506**	導入コストが高い					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
法人が導入の意思がない	1あてはまらない	46	5	57	13	10	131
	2どちらかといえばあてはまらない	0	6	19	12	2	39
	3どちらともいえない	0	1	102	21	15	139
	4どちらかといえばあてはまる	0	0	10	14	13	37
	5あてはまる	1	0	14	5	24	44
	合計	47	12	202	65	64	390

- 法人が導入の意思がないにあてはまらないと回答し、と 導入コストが高いにあてはまらないと回答した集団（14%）が存在する。
- 一方、法人が導入の意思がない、導入コストが高いと回答する集団（14%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

■ 法人に導入意思がある場合は、導入方法がわかっている。法人にICT導入の意思がないのは、導入方法が分からないからであるということが示された。

法人が導入の意思がない と 導入の方法が分からない のクロス表

Pearson の相関係数	.545**	導入の方法が分からない					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
法人が導入の意思がない	1あてはまらない	69	14	39	6	3	131
	2どちらかといえばあてはまらない	3	13	15	7	1	39
	3どちらともいえない	2	5	111	16	5	139
	4どちらかといえばあてはまる	1	3	10	18	5	37
	5あてはまる	5	2	15	7	15	44
	合計	80	37	190	54	29	390

- 法人が導入の意思がないにあてはまらなないと回答し、導入の方法が分からないにあてはまらなないと回答した集団（25%）が存在する。
- 一方、法人が導入の意思がない、と 導入の方法が分からないと回答する集団（11%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に強い正の相関が示された。

法人に導入意思がある場合は、新システム導入後使用方法や活用方法を展開ができています。法人にICT導入の意思がないのは、導入後使用方法や活用方法を展開が難しいからであるということが示された。

法人が導入の意思がないと新システム導入後使用方法や活用方法を展開が難しいのクロス表

Pearson の相関係数	.377**	新システム導入後使用方法や活用方法を展開が難しい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
法人が導入の意思がない	1あてはまらない	41	16	26	38	10	131
	2どちらかといえばあてはまらない	1	9	12	15	2	39
	3どちらともいえない	0	5	93	32	9	139
	4どちらかといえばあてはまる	1	2	9	21	4	37
	5あてはまる	1	3	11	10	19	44
	合計	44	35	151	116	44	390

- 法人が導入の意思がないにあてはまらなないと回答し、新システム導入後使用方法や活用方法を展開が難しいにあてはまらなないと回答した集団（17%）が存在する。
- 一方、法人が導入の意思がない、と新システム導入後使用方法や活用方法を展開が難しいと回答する集団（13%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に正の相関が示された。

■ 法人が導入の意思がないとケアマネジャーからの協力を得ることが難しいは正相関が存在する。（一方でどちらともいえないも多い。）

法人が導入の意思がないとケアマネジャーからの協力を得ることが難しいのクロス表

Pearson の相関係数	.377**	ケアマネジャーからの協力を得ることが難しい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
法人が導入の意思がない	1あてはまらない	47	20	37	23	4	131
	2どちらかといえばあてはまらない	2	16	13	7	1	39
	3どちらともいえない	3	10	106	15	5	139
	4どちらかといえばあてはまる	4	4	11	14	4	37
	5あてはまる	3	4	17	5	15	44
	合計	59	54	184	64	29	390

- 法人が導入の意思がないとケアマネジャーからの協力を得ることが難しいにどちらともいえないと回答する集団が27%と多くを占めている。
- 法人が導入の意思がないにあてはまらなないと回答し、ケアマネジャーからの協力を得ることが難しいにあてはまらなないと回答した集団（17%）が存在する。
- 一方、法人が導入の意思がない、とケアマネジャーからの協力を得ることが難しいと回答する集団（9%）が存在する。
- 2極分化した集団の存在により、それぞれの回答に正の相関が示された。

■ 大部分（44%）が、家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいとサービスの質の向上・介護負担の軽減につながって欲しいと両方に回答した

家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいとサービスの質の向上・介護負担の軽減につながって欲しいのクロス表

Pearson の相関係数	.426**	サービスの質の向上・介護負担の軽減につながって欲しい					
有意確率（両側）	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい	1あてはまらない	14	1	2	2	15	34
	2どちらかといえばあてはまらない	0	0	8	11	11	30
	3どちらともいえない	1	1	52	34	50	138
	4どちらかといえばあてはまる	0	0	13	51	47	111
	5あてはまる	0	0	2	10	65	77
	合計	15	2	77	108	188	390

- 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいとサービスの質の向上・介護負担の軽減につながって欲しいと両方に回答した集団（44%）が大部分を占めている。
- 一方、両方にあてはまらないとした集団はごく一部（3%）存在する。
- 2極の集団の存在により、それぞれの回答に正の相関が示された。

■ 職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたいと考えている介護従事者は、家族にもLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいと考えている。

家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい と 職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい のクロス表

Pearson の相関係数	.785**	職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい	1あてはまらない	26	2	5	0	1	34
	2どちらかといえばあてはまらない	2	14	8	4	2	30
	3どちらともいえない	3	7	105	16	7	138
	4どちらかといえばあてはまる	0	5	14	73	19	111
	5あてはまる	0	0	5	8	64	77
	合計	31	28	137	101	93	390

- 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい と職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたいと両方に回答した集団（42%）が多くを占めている。

■ 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいと考える介護従事者は、家族に介護サービスの内容や様子をLINEやSMSで知らせたいと考えている。

家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい と 家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい のクロス表

Pearson の相関係数	.663**	家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい					
有意確率 (両側)	0.000	1あてはまらない	2どちらかといえばあてはまらない	3どちらともいえない	4どちらかといえばあてはまる	5あてはまる	合計
家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい	1あてはまらない	23	3	4	2	2	34
	2どちらかといえばあてはまらない	0	11	12	7	0	30
	3どちらともいえない	4	11	93	25	5	138
	4どちらかといえばあてはまる	0	4	26	63	18	111
	5あてはまる	2	2	8	14	51	77
	合計	29	31	143	111	76	390

- 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい と 家族に介護サービスの内容や様子を知らせたいと両方に回答した大きな集団（17%）がいる。

- 施設・在宅と両方で「職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたい」「家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しい」「家族に介護サービスの内容や様子を知らせたい」と思っている。
- 施設・在宅と両方で新しいやり方になれるのは大変ではあるが、ICTは普及して欲しいと考えていることがわかった。
- 介護記録はICTシステムを活用し、ご家族とコミュニケーションしている集団（24%）が存在する。
- 介護記録はICTシステムを活用し、法人以外の多職種と共有している集団（25%）が存在する。
- 介護記録はICTシステムを活用し、ご家族等が見ている集団（28%）が存在する。
- 法人に導入意思がある場合は、新システム導入後使用方法や活用方法を展開ができている。法人にICT導入の意思がないのは、導入後使用方法や活用方法を展開が難しいからであるということが示された。
- 大部分（44%）が、家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいとサービスの質の向上・介護負担の軽減につながって欲しいと両方に回答した
- 職員間や多職種間とのやり取りをLINEのような形で行いたいと考えている介護従事者は、家族にもLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいと考えている。
- 家族に職員間や多職種間とのやり取りの中にLINEやSMSで気軽に参画をして欲しいと考える介護従事者は、家族に介護サービスの内容や様子をLINEやSMSで知らせたいと考えている。



アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございます。